

こけの研究

和泉市立黒鳥小学校

5年 福西 一花

1. 研究の動機

旅行に行った時にこけ玉作りを体験して、とても楽しく、とてもかわいく思えた。また、家の周りを見て、ただの雑草だと思っていたものが「こけ」だということを知り、他にもちがう種類のこけがあった。そこで、「こけ」についてとても気になり、育ち方も知りたくなったので研究をした。

2. 実験観察の方法

- ①こけの成長の様子を知るために、9つのポットにこけを少しずつ入れて成長を観察した。
- ②こけの種類や他の植物との違いをインターネットや本で調べた。
- ③身の回りのどんな所にこけがあるのかを探して、自分の町の「こけマップ」を作成した。

3. 結果

- ①こけは、日なたより日陰で湿っている土の方が良く育った。
- ②こけには、蘚類・苔類・ツノゴケ類がある。蘚類は多細胞、苔類は単細胞、ツノゴケ類はツノのような胞子とバクテリアと共生していることが特徴である。
- ③こけは階段や道のすき間などの目立たない場所に生えていた。

4. まとめ

- ・こけがよく育つために必要な条件は、日陰に育つことである。
- ・「こけマップ」と太陽の動きからは日陰になるところによく生えていた。成長記録からは日陰で湿る土の方が良く育っていた。
- ・二つの研究から、こけがよく育つために必要な条件は日陰だということがわかった。

今までは植物は日なたで水をたくさんあげた方が良く育つと思っていたけど、こけの研究を通して、それぞれの植物に合う育ちやすい環境が違うことが分かった。

5. 今後調べたいこと

今回の研究を生かして、それぞれの植物に合った環境はどんなものがあるのか研究してみたい。

6. 参考資料

<https://fumakilla.jp/foryourlife/253>

フマキラー

「自宅でできる苔（コケ）栽培。コケの育て方、増やし方について」

